

[交流企画委員会] 第34回JFCA テクノフェスタ報告

ファインセラミックスに関する最新情報の提供・交流の場として恒例となりました一般社団法人日本ファインセラミックス協会主催のJFCAテクノフェスタが150名を超える方の参加をいただき、令和2年1月27日(月)にメルパルク東京(東京都港区芝公園)において開催されました。昭和62年以来、毎年開催で第34回になりました。

テクノフェスタは、各社の先端商品の技術について現物に触れながら開発担当者と直接ディスカッションができる、既存の学会や展示会にはない機会として、当協会の好評を得ている事業となっています。

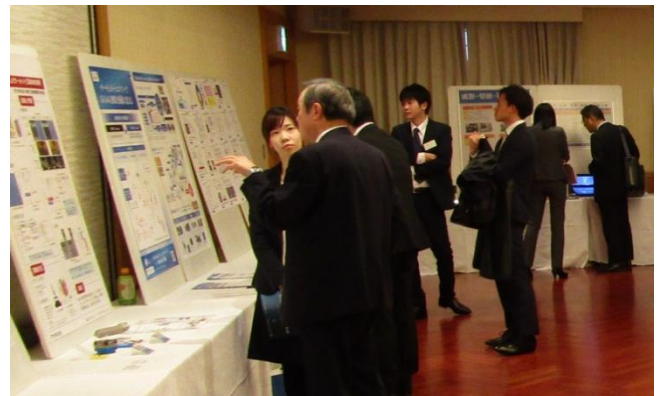
矢野専務理事の開会挨拶に続き、10時から12時20分まで、各企業・研究機関の開発担当者による13件のオーラルセッションの発表が行われました。発表いただいた方々は次の通りです。



- ①株式会社カタリメディック 河津 秀行氏
医療用人工骨の開発
- ②一般財団法人ファインセラミックスセンター
木村 禎一氏
レーザーを用いたアルミナの短時間焼結技術
- ③日本特殊陶業株式会社 波多野 祐規氏
新切削工具 BIDE MICS®と Ni 基および Ti 合金の超高速、高能率加工
- ④株式会社エスケーファイン 浅野 忠克氏
セラミックス3次元造形法による高精細・高品質セラミックスの造形
- ⑤株式会社村田製作所 浦川 淳氏
ミリ波帯フィルタ用 LTCC 材料
- ⑥第一工業製薬株式会社 後居 洋介氏
セラミック用途におけるセルロースナノファイバーの応用

- ⑦株式会社ニッカトー 井坂 俊吾氏
アルミナ多孔質体の開発
 - ⑧堺化学工業株式会社 岸 美保氏
導電性酸化チタン ENETIA®の開発
 - ⑨大阪富士工業株式会社 山本 政道氏
SiN、AlN、SiC、難加工材料の高精度スライス技術
 - ⑩株式会社トクヤマ 台木 祥太氏
高放熱窒化物材料の開発
 - ⑪株式会社新菱 田中新吾氏
サーキュラー・エコノミー、SDGsの取組事例について
 - ⑫京セラ株式会社 田中 綾乃氏
熱 CVD 法でセラミックスを被覆したサーメット工具材の開発
- (招)高知工業高等専門学校 秦 隆志先生
ファインバブルを用いた農水・洗浄技術への応用とセラミックスを用いた発生器の事例

昼食を挟んで13時10分から1時間、ポスターセッションによる活発なディスカッションが行われました。



いずれも甲乙つけがたい素晴らしい発表でしたが、交流企画委員会の安富義幸委員長から、後居洋介様[第一工業製薬株式会社]と、木村禎一様[(一財)ファインセラミックスセンター]に、エクセレントプレゼンテーション賞が贈られました。同賞は、JFCA 交流企画委員会が審査委員となり、オーラル及びポスターを通して優れたプレゼンテーションに贈られるものです。



つづいて先進的なご研究をされているお二人のご講演がありました。

- ①物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 熱電材料Gr 主任研究員 高際 良樹 様
『温度差発電を利用したIoTセンサ用自立電源』
- ②経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 企画官 情報処理安全確保支援士 鴨田 浩明 様
『産業分野におけるサイバーセキュリティ政策』

高際先生からは、室温近傍の低温排熱を有効活用する目的で開発されてきた、無害で希少ではない材料構成のFAST材料(Fe-Al-Si系)の開発コンセプトや機械学習によるマテリアル・デザイン手法の説明を頂き、また計画中のNEDOプロジェクトや実証実験の状況も紹介頂きました。

鴨田様からは、日本企業が曝されているサイバー攻撃の実情を説明頂きました。近年はサプライヤーチェーンの中で防御レベルが低い企業から攻撃される事例が多いとのことで、自社の防御が低いと顧客に被害が及ぶとのことでした。対策として『産業サイバーセキュリティ研究会』を立上げ、分野ごとのサプライヤーチェーンで対策フレームワークの構築を検討していること、中小企業への支援を実施していることの説明を頂きました。



テクノフェスタが大盛況の中で終了し、引き続き、新春懇親会がスタートしました。

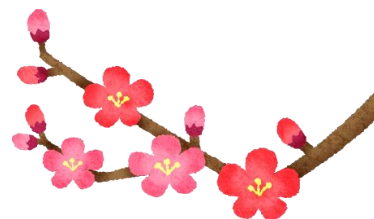
はじめに、尾堂会長がご挨拶し、本年度より京セラの山口会長、デンカの吉高会長に副会長に就任頂き新たな体制となったこと、2018年度のファインセラミックス国内生産総額が3兆円を超えグローバル市場で4割を占めていること、JFCAの会員企業が100社を超えるところまで拡大してきたこと、HPを一新するなど更に会員の皆様とのコミュニケーションを促進していくこと、東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えセラミックスファミリーの皆様にご協力をいただきファインセラミックス産業が大輪の花を咲かすべく努めていきたいと挨拶を述べられました。



続けてご来賓として、経済産業省上田大臣官房審議官から、日本のファインセラミックス産業が世界シェアも高く、生産額も大きく伸び続けていることは非常に喜ばしいことであるとのご祝辞とともに、成長産業として更なる拡大を目指して欲しいとの言葉をいただきました。



その後、山口副会長の音頭で歓談のひと時をお過ごしいただきました。その後、新会員である株式会社新菱、株式会社フェローテックマテリアルテクノロジーズ、株式会社エスケーフアイン、岩谷産業株式会社、豊田バンモップス株式会社、堺化学工業株式会社の6社の各代表者からご挨拶があり、最後に吉高副会長の中締めのと、散会いたしました。





今回のテクノフェスタのオーラル・ポスターセッションにおいては、農業、医療、航空、次世代通信、エネルギー、SDGs、自動車などの応用分野において、新材料開発だけでなく、部品やシステム開発まで、ファインセラミックス産業の上流から下流まで網羅した幅広いテーマの発表がありました。ご講演者や参加者の皆様方で非常に活発な議論があり、また新春懇親会においてもファインセラミックス産業に関わっている方々が元気であることが実感できました。

今後とも、テクノフェスタや各種イベントが新製品や新技術の開発の礎となり、価値創出や市場拡大につながるよう進めてまいります。

[参加者] 150名

追記として

* “JFCA セラミック”のロゴ入りの飴を *
* ささやなお土産として持ち帰っていただきました。 *
* * * * *
* * * * *

